

展開実習

担当者：佐藤 宏明（理学部・准教授） 遊佐 陽一（理学部・准教授）
大石 理子（人間文化研究科・博士研究員）
開講時期：後期 週時間：集中 履修者数：1名

授業概要・目的

本講義は、奈良における商業的大規模観光地や都市空間の問題点を認識した上で、奈良の歴史的景観、および生活文化と関わりあってきた里地里山や都市の中の自然景観を再評価し、商業的大規模観光に代わりうる観光のあり方を学ぶことを目的としています。

そのために、(1) マスツーリズムの限界と持続可能な観光のあり方の一つとしてのエコツーリズム・グリーンツーリズムに関する講義、(2) 佐保・佐紀、山の辺の道、旧柳生街道などの現地踏査、(3) 現地踏査に基づいた生活観光ガイドマップの作成およびネット上での情報発信、を行います。

スケジュール

日程	内容	
12月	講義	マスツーリズムの限界とエコツーリズム・グリーンツーリズムへの取組み、奈良県におけるその現状に関する講義を行なう。
	導入	既存のウォーキングルート进行调查した上で、踏査ルートを計画する。有望な3ルートについて、現地踏査に向けて資料収集を行なう。
1月	第一回現地踏査	奈良北町から奈良西の古墳群へ向かう佐保・佐紀の道を歩く。おもに、神社境内および裏山の自然、田園的景観、鴻ノ池・ウワナベ池・コナベ池・水上池の水鳥を確認する。
2月	第二回現地踏査	円照寺から正暦寺、鳥研をつなぐ道を歩く。おもに、円照寺裏山と正暦寺から鳥研を結ぶ山道を踏査し、その利用状況・森林の状態を確認する。
	第三回現地踏査	新薬師寺・白毫寺から東海自然歩道、鉢伏峠を通り田原地域へつながる道を歩く。破石のバス停から白毫寺に至る町並み、鉢伏峠の自然環境、田原の田園風景を確認する。
	発表	生活観光資源として生かすことのできる景観を抽出し、踏査マップを作成する。また、踏査ルートの問題点を洗い出し、新たなルートを提案する。

取組内容・成果

現地踏査では、事前に作成した踏査ルートに基づき、佐保・佐紀方面、奈良奥山方面、鉢伏峠から田原地域を3日間歩き、生活観光資源として生かすことのできる景観、おもに社寺境内の景観、田園的景観、生活地域さらには伝統的市街地の町並み景観、生活文化と関わりあってきた都市近郊の里山・自然景観を探索しました。毎回6～7時間、距離にして10kmという長時間・長距離の踏査の上、気温も低く、整備されていない山道を歩くこともありましたが、無事踏査を終え、各コースの景観の特性およびその問題点を確認することができました。

2月上旬には、現地踏査で収集した資料と写真を地図に落とし、踏査マップを作成しました。同時に、東海自然歩道や奈良市歴史の道といった既存のウォーキングコースを書き入れ、踏査コースと従来のコースにおけ

る観光資源の特質の比較を行ないました。また、現地踏査をふまえて新たに次の二つのコースが提案されました(1)新薬師寺・白毫寺からバスで田原まで登り、鉢伏峠から正暦寺へ抜ける山道を通り、円照寺・鳥研まで下るコース、(2)矢田原町にある国見山の石仏・塔の森を巡るコース。

今後に向けて

今回の講義は、自然環境を中心とした観光資源の抽出と踏査マップの作成に留まりました。今後はさらに詳細な生活観光ガイドマップを作成し、本講義のウェブサイトでこれらの成果に関する情報発信を行なう予定です。また、次回の講義では、今回の踏査によって明らかになった問題点を踏まえ、新たなコースの踏査を行ない提案していく予定です。

展開実習の感想

1回目
奈良女の周りにあんなに古墳が有るなんて知りませんでした。歩ける距離で天皇陵がたくさんみれるなんて驚きました。ほとんどすべての天皇陵がほぼ同じだったので、もっとそれぞれの天皇陵の個性を出せばいいのにおもいました。野鳥などもみれて楽しかったです。もっと自分でもいろいろ探してみたいと思いました。

2回目
疲れました。道は人が常に通ってこそ道であり得るのだなと感じました。地図に載っていても実際は道として機能していない山道が多くてびっくりしました。地図って以外とあてにならないんですね。そして、山道ってなんだかんだで市などが整備しているものだと思っていたらそうじゃないんですね。だってあんなにあってはいるんですから。そりゃ、遭難もするだろうなと思いました。
お寺さんなどはとてもすてきでした。趣があり、しんとしていて気持ちよかったです。何で今までこんな近くにこなかったんだろうと不思議です。また来たいと思いました。
民家のおばさんに野菜をもらって人の温かさを感じました。奈良の人は暖かいですね。

3回目
とにかく道の脇が汚い部分が多かった。どうしてあんなにゴミが落ちているのでしょうか？不法投棄の注意の看板の多さにも驚きました。地元の中학생とかボランティアを募って、一斉に掃除をしたいと思いました。あれでは観光客もがっかりです。
山を越えたとたんに関が出現してびっくりしました。山を越えた先では、奈良市とは思えない雪景色で、とてもきれいでした。

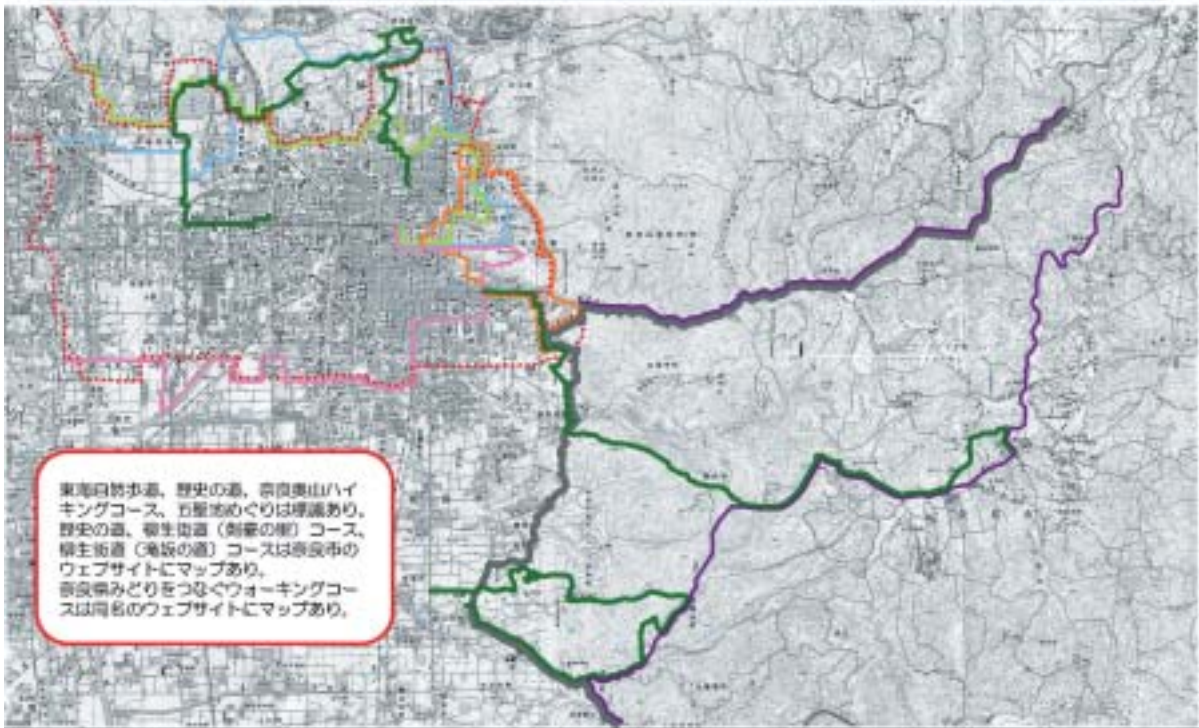
受講した学生の感想



現地踏査の様子

本講義の踏査ルートと既存のウォーキングコース

- 講義の踏査ルート
- 歴史の道
- 奈良県みどりをつなぐウォーキングコース
- 東海自然歩道
- 五聖地めぐり



講義の現地踏査ルート（緑線）と、既存のウォーキングコースを示した地図

第1回現地踏査 奈良北（佐紀・佐保） (2008年1月30日) 約7時間

奈良女子大→聖武天皇陵→西安の森→郡羅山墓→黒髪山神社→元明天皇陵→元正天皇陵→郡羅山墓→ウツナベ池→コナベ池→水上池→平城宮跡→近鉄新大宮駅→近鉄奈良駅→奈良女子大学

..... 踏査予定ルート — 実際の踏査ルート 踏査後の提案ルート → 徒歩 → 電車



第一回現地踏査、奈良佐保・佐紀の踏査マップ

第2回現地踏査 円照寺～正暦寺～鳥研 (2008年2月2日) 約8時間

奈良女子大→近鉄奈良駅→奈良町→円照寺→太閤館→円照寺裏山→後水尾天皇皇女墓→正暦寺→泣き笑い地蔵→山道→ハナキレ地蔵→時計塔→東海自然歩道へ合流→鳥研→山村町→近鉄奈良駅→奈良女子大

..... 踏査予定ルート ——— 実際の踏査ルート 踏査後の遊業ルート →徒歩 ⇨バス



第二回現地踏査、円照寺から正暦寺、鳥研をつなぐ山道探索の踏査マップ



第三回現地踏査、鉢伏峠から田原地域の踏査マップ